

放射線技術科支部会報

Vol.11 1998年7月15日発行

発行人 末森慎治（1期生）
編集 黒住 晃（4期生）
編集発行 川崎医療短期大学同窓会
（松丘会）放射線技術科支部
〒701-0194 倉敷市松島316
☎086-462-1111（3055）
印刷 西日本法規出版株式会社

「放射線技術科支部発足20周年を迎えて思うこと」

下関市立中央病院 林 勝典（9期生）

「川短」を卒業して、はや10年になる。この10年で自分の身に起きたことといえば倉友会に拉致された、もとい入会させて頂いたことと学生時代とは全く違った体形になってしまったことだ。このでっばったお腹をさすりながら時間のながれとは早いものだとしみじみ思う今日この頃である。

さて、このたび支部発足20年を迎えようとしているのだが、20年といえば、人間で言うと成人にあたり、これまでに一人立ちした責任ある会にしていかなくてはなりません。しかし、支部会組織を構成する人数が増えれば増えるほど会運営は難しくなります。なぜなら、年齢、主義主張その他諸々の違いを持った人たちが増えるからである。これは致し方がないことであり、逆にみな意見が同じほうが恐ろしいこともあるが…。

ではどうすれば魅力的な会になるのだろうか、「支部といっても所詮同窓会なんだからこんなものだ」と多くの人が思っているのではないだろうか。もちろん、私自身もその中のひとりだったのだが…。ここで、中学、高校なりの同窓会を思い出して欲しい。どこの会にしても、「〇〇周年記念」を迎えるとパーティ（飲み会）を開き、募金によってなにかしらの記念品を学校に寄付し見も知らない一部の役員だけが満足しているといった様な会がほとんどであろう。こういった同窓会でよければ（別にこれが悪いと思っているのではなく、この場合職業の違いや会員の年代の大幅なギャップなどなどあるからしかたがないと思っている）この会もこのままで十分だと思う。しかし、この会の会員は、ほぼ100%同じ診療放射線技師として働いておられるだろうから、同じ職業人としての悩み、苦勞、喜びなどが年齢等に関係なくわかりあえると思うからこそ、みなで、さまざまな意見要望を本部に出し、それらをみなで考え話し合うことによって他の同窓会とは違った会員による会員のための愛着ある同窓会組織にしていける可能性があるのではなかろうか。

支部が発足20年を迎えるのだがうかれてばかりいられない。これからが支部にとってまさに正念場になってくると思われる。技師教育も4年制大学が主流になりつつあり、またそうならないといけないと思うし、「川短」も早急に4年制に移行して欲しい。しかしここで問題が生じる。支部の存続である。短大と大学が同じ同窓会に統一できる訳がないだろうから、大学に移行した時点でいずれこの会は自然消滅していくしかない運命なのだろうか…。そうならないために、私の個人的な意見としては、各地域別に支部を発足させ技師会や技術学会等の大会が行なわれる時に、その支部が中心となり勉強会などを主催するといったようなことができればと思っている。そして、地域支部に大学出身者にも参加してもらい一緒に勉強等を行なうといったようなかたちで大学出身者を支援協力し、お互いが切磋琢磨していける組織にできたらと思っています。

最後に、本部役員の方々には、20周年を機にまず放射線技術科支部組織の見直し及び整備をして頂きたい。また会員の皆様には、この会に対するご意見ご要望をどしどし本部によせてより良い組織にし、会費分の見返りを、もとを取り戻そうではありませんか。

九州山口支部 倉友会の展望

放射線技術科支部 九州・山口地域支部長 塩谷 正 貴（8期生・JR九州病院）

平成8年12月7日、倉友会総会において役員改選が行われ、会長を引き受けさせていただくこととなった8期生の塩谷です。

倉友会は発足以来、10年以上の長きにわたり、1期生の小川前会長他、前役員の方々の尽力により、今まで充実した会の運営がなされてきました。会員一人一人の意見を尊重しつつ、自分の裁量により会を引っばって行く小川前会長の姿勢は、私も見習わなくてはならないところが多く、責任の重さを実感しているところです。

倉友会は、既存の同窓会とは志を異にした会員本位の会としてスタートし今日に至るわけですが、発足当初のように、会員の人数が少なく小回りの利いていたころとは異なり、現在では百数十名を数える大所帯へと成長しました。後輩諸君が地元に戻ってくるのは喜ばしい限りですが、全国的な技師数の増加に伴い就職も困難を極めてきました。皆がそれぞれ希望の就職先に採用になることは不可能に近く、従来新卒者には敬遠されていた個人病院に就職するケースも目立ってきており、この傾向は今後ますます強くなっていくものと思われます。

卒業したての新人技師が一人で仕事をしていくのは、早く自立した考えを持つことができる一方で学問的、技術的諸問題に対処していく上で非常に問題が多く、日進月歩の最新医療の情報から取り残されてしまうことが往々にしてあります。我々がそのすべてをサポートするのは不可能ですが、会を通じ先輩後輩の枠を超えて一放射線技師として情報交換を行い、意欲のある諸君の力になればと考えています。

個人の意見を言わせていただくと、私は全ての会員に同窓会行事への参加を強制するつもりはありません。会員の考えは様々ですし、九州山口地域と言ってもかなり広い範囲に会員がいるうえ、総会や歓迎会は北九州が下関でしか行えていないのが現実であり、遠方から参加する会員は、交通費や時間の面でかなりの負担を負うことになっているからです。

ただ、年に一度、倉敷で共に学んだ友人と昔話を肴に酒を酌み交わしつつ近況を語り合い、業務に関する些細なことから深いところまで存分に議論できる場として倉友会を利用していただきたいのです。

なお、私とともに会の運営を行っていく新役員は、副会長 6期生 下関厚生病院 増矢勝史、庶務 3期生 健和会大手病院 森山俊明、会計 16期生 JR九州病院 山之内雅幸 の3名です。

役員という肩書きはありますが一同、倉友会の1会員としての立場で世話をさせていただくことになると思いますので、宜しくお願いします。

四国にも香川で支部が発足したという事ですし、今後も本部、支部間のリンクを持ちつつ、より一層充実した会の運営を心がけていきたいと考えています。

「讃岐会」誕生！

香川県予防医学協会 岩元 繁幸（1期生）

放射線技術科同窓生のみなさんいかがお過ごしでしょうか。仕事、育児、趣味に忙しい毎日を送っておられることと思います。

「讃岐会」と聞かれてみなさん何をご想像されるでしょうか。賢明な同窓生のみなさんならもうお分かりでしょう。そうです、「さぬきうどん」研究会です。

失礼、間違いました。この度、香川県で発足した川崎医療短期大学放射線技術科支部地域支部の名称です。讃岐会は、平成9年6月21日 高松市の讃岐会館にて産声をあげました。会員数は8月現在23名で、役員は以下の通りです。

支 部 長 岩元 繁幸（1期）香川県予防医学協会

副支部長 高橋 徹（2期）高松赤十字病院

幹 事 赤坂 幸紀（3期）五番町病院、小川 和郎（4期）香川医科大学医学部附属病院

会 計 小椋 一作（8期）坂出市立病院

監 査 安部 淳子（1期）高松赤十字病院、大嶋 文雄（2期）香川県立がん検診センター

さて、申し遅れましたがこの度、香川県地域支部の舵取り役をお引き受けする事になりました。何分初めての経験ですので地域支部についての概念、活動方針も決まっておりませんが、幸運なことに地域支部には倉友会というりっぱなお手本が有ります。倉友会の活動を教本とし、地域色豊かな個性のある讃岐会にしていきたいと思えます。

放射線技術科支部は、もう少しで発足20周年になります。おそらく形は変わっても同窓会は、30年、50年、と続いて行くでしょう。時代も移っていく中で世代の認識も、意識も大きな変化が有りますが、放射線技術科支部に流れる同窓会の伝統は、私たち同窓生の誇りで有り、心の絆でもあります。同窓会のあり方については色々な意見が

有ると思いますが、伝統という心の絆を大事に各々が母校のため、放射線技術科のため、地域支部のため、個人のために努力し、頑張っていかなければならないと思います。

最後になりましたが放射線技術科支部役員の皆様、お忙しい中、設立総会にご出席を頂きまして有り難うございました。これからも何とぞご指導、ご支援を宜しくお願い致します。

香川県支部設立総会報告

放射線技術科支部 支部長 末 森 慎 治（1期生）

平成9年6月21日（土）に放射線技術科支部の2番目の地域支部として香川県地域支部が誕生した。当日は、讃岐会館において香川県在住の16名と放射線技術科支部の役員4名（末森、荒尾、松浦、黒住）にて設立総会と懇親会が行われた。設立総会は、2期の高橋氏の司会により次々に議案が検討されすべて承認された。今後は、香川県地域支部（讃岐会）として活動をしていただく事になりますが、ここで役員を引き受けていただいた方々を御紹介しておきます。

地域支部長に1期生の岩元繁幸氏、副支部長に2期生の高橋徹氏、会計に8期生の小椋一作氏、監査に1期生の安部淳子、2期生の大嶋文雄氏、幹事に3期生の赤坂幸紀、4期生の小川和郎氏の方々が役員となっております。

今後、放射線技術科支部香川県地域支部（讃岐会）が益々発展する事をお祈りして、設立総会の報告とさせていただきます。

第9回倉友会総会に参加して

放射線技術科支部 会計 坂 麻由香（16期生）

平成10年1月24日、山口市の湯田温泉にある防長苑にて第9回倉友会総会が開催されました。参加予定人数が37名と例年に比べ多かったのですが、この日は朝から雪が降り積もり、そのため来られなかった人も数名いました。電車の遅れや車の渋滞で到着が遅くなった人たちも多く、15:00から予定されていた学術発表も1時間遅れて始まりました。8期の江口さんによる「放射線科における患者接遇について」が発表された後に総会が行われました。

平成9年度事業報告では、例年新卒者は3、4名であるのに、今年の18期生は33名もいたためお祝い状を出さなかったこと、6月に小倉で新入会員の歓迎会を行い、参加人数が27名（18期生7名）であったことなどが報告されました。

平成9年度会務報告では、予算、決算、会費納入状況が報告されました。会費の納入状況は、会員201名（平成9年10月30日現在）のうち39名が5年連続会費未納者のため会誌等の発送を中止（第7会総会で決定）したので、実勢162名であり、この会費納入率は26.5%であるということです。

平成10年度事業計画では、新卒者へのお祝い状と歓迎会を企画していること、次回の総会の開催場所を南九州や沖縄にするのはどうか、などの案が出されました。また、総会の案内や連絡等は同期の人から誘われた方が参加しやすいのではないか、ということで各期の責任者が塩谷会長の一任で選ばれました。

特別議題では、平成15年度に倉友会ができてから20年になるため、20周年記念事業を行うことが決定されました。内容については、10周年記念事業の時のように大きな同窓会的要素のあるものがないのではないか、などの意見がだされましたが今後話し合っていくことになりました。また、その資金確保のために、会費の中から毎年20000円ずつの積み立てをしていく事が決まりました。

辺りが真っ白になる頃総会は終わり、懇親会へと続きました。料理やお酒が勧められる中、松丘会の末森支部長から川崎学園の近況がスライドを用いて紹介されました。短大の時にお世話になった先生や、技師の顔をみて懐かしむ声や、変わってしまった中庄駅の周辺などをみて驚きの声が上がっていました。

今回の総会は16期生と18期生の参加が多く、私にも知った顔がたくさんいて、仕事の話やプライベートな話などいろいろ聞くことができとても楽しかったです。今後もどんどん若い人たちに参加して欲しいと思いました。知らない先輩方が多くて最初は不安でしょうが、みんな同じ学校を卒業し、同じ職種に就いているのですから共通の話題も多いはず。九州・山口と皆さん近くで働く人ばかりですから、仕事で困ったことや解らないことがあったときに相談したり、アドバイスをしてもらったりと自分にとってプラスになることも多いと思います。若

い人たちは、まず友達を誘いあって参加し、先輩方もそれに負けないように参加して倉友会を、そして同窓会をみんなと一緒に盛り上げていきましょう。

平成10年 2月吉日

川崎医療短期大学同窓会（松丘会）代議員会報告

日時：平成10年5月23日（土）14：30～16：30

場所：まきび会館

放射線技術科支部出席者：末森慎治 他代議員

議長に看護科支部10期生の太田栄子氏を選任のうち以下の議題について審議を行った。

議題1. 平成9年度事業報告（北山会長）

資料に基づき以下の報告がなされすべて承認された。

(1) 同窓会名簿（全体名簿）の販売

640部作成し4000円にて453部販売を行った。後は同窓会役員および川崎学園関係者に配布を行ったが残部が約100部あるので希望者には販売を行うとの報告があった。次回全体名簿の販売は同窓会30周年の時とする。（8年後）

(2) 同窓会入会式の開催

平成10年3月14日に川崎医療短期大学の体育館にて行った。

(3) 会員名簿第23号の発行

平成9年8月1日に全体名簿80部、新卒者名簿500部、各科支部名簿850部作成した。

(4) 卒業生への記念品作成・贈呈

平成10年3月14日に50度数のテレホンカードを600枚作成した。希望者には残部があるので実費700円にて販売を行うので申し出てほしいとのこと。

(5) 学園祭への協力

平成9年10月25～26日開催の仮装行列に同窓会会長賞として2組に10000円づつ贈呈をした。

(6) 役員のパシ遣

- ア) 平成9年度川崎医療短期大学入学式（平成9年4月8日）会長
- イ) 尾三会（尾道・三原）川崎会同窓会（平成9年6月26日）副会長
- ウ) 平成9年度川崎医療短期大学卒業式（平成10年3月16日）会長

(7) 短大学報「同窓会だより」の原稿執筆

- ア) 第33号「医用デザイン科支部の発足」医用デザイン科支部長
- イ) 第34号「地道な看護科支部活動」看護科支部長

(8) その他

- ア) 慶弔 弔電・献花 第4代学長岡田政敏先生葬儀（平成10年1月27日）
- イ) 各会議が以下のように行われた。
代議員会（H9.5.17）、理事会（H9.4.9）、
常務理事会（H9.5.13/H10.1.27）、部局会議

（H9.10.24）

議題2. 平成9年度会計決算報告（坪井事務局長）

資料に基づいて会計報告がなされ承認された。

議題3. 平成9年度監査報告（福原監事）

同窓会の会計ならびに事業計画は妥当適正に行われていることが報告された。

議題4. 各科支部平成9年度事業報告および会計決算報告（各科支部長）

資料に基づき各科支部の報告が行われすべて承認された。

議題5. 平成10年度事業計画（北山会長）

(1) 同窓会ホームページの開設

川崎医科大学のホームページに加える。また各科より代表者を1名選出してお手伝いを願う方向にしたいとの意向を示した。

(2) 卒業生の記念品の作成

(3) 名簿管理・発行

(4) 同窓会入会式

(5) 学園祭への補助

議題6. 平成10年度会計予算案（坪井事務局長）

資料に基づき予算案が示され承認された。

議題7. 各科支部平成10年度事業計画案（各科支部長）

資料に基づき各科支部より事業計画案が述べられすべて承認された。

議題8. 新役員・新代議員紹介（坪井事務局長）

新役員に総務担当理事として医療秘書科19期河田千賀子、会計担当理事として医療秘書科17期小野奈美子、臨床検査科支部長として5期船田和幸。新代議員に放射線技術科は19期吉川浩靖（赤穂中央病院）が紹介され承認された。

議題9. その他

(1) 現在の会員数（卒業生数8082名）

放射線技術科支部は1002名の卒業生となった。

(2) その他

ア) 人事について

三戸先生が山口県の東亜大学に教授として赴任された。

鍵山先生が広島県の広島国際大学に教授として赴任された。

谷原先生が当短大の教授に昇格された。

イ) 科名変更

医用電子科が来年より臨床工学科に科名変更する。

ウ) 学園関係

西暦2000年に学園30周年記念事業として短大体育館の新築工事が行われる。また、医療秘書科と

医用デザイン科が4年生大学に移行される。後の学科については現在検討中とのことです。

平成10年度 第1回代表者会議事録

日時：平成10年4月25日（土）

午後3時～午後5時

場所：川崎医療短期大学 300号教室

出席者 支部長 末森 慎治
副支部長 荒尾 信一
松浦 潔行
会計 天野 貴司
坂 麻由香
監査 富田 正二
運営委員長 黒住 晃
運営委員 水上 洋
代表者
3期生 今井 章人 4期生 代多田 善昭
5期生 山本 浩之 7期生 池長 弘幸
9期生 川崎 晋慎 10期生 吉田 耕治
12期生 角場 幸記 15期生 石川 哲也
16期生 内田 敏敦 17期生 北谷 文章
18期生 村 正勝 19期生 山本 理恵
九州・山口地域支部長 塩谷 正貴
香川県地域支部長（今会議で承認） 岩元 繁幸
" 副支部長 高橋 徹 （以上23名）

議事の経過および結果

末森支部長のもとに平成10年度第1回代表者会を開会、挨拶の後、支部長を議長に選出し、議事に入った。

(1) 松丘会常務理事報告及び代議員会報告（末森）

・前述参照

(2) 支部役員について（末森）

・平成10年4月より

第19期生 代議員に吉川浩靖（赤穂中央病院）

代表者に山本理恵（岡山済生会病院）

が選任された。

(3) 平成9年度事業報告（末森）

・会報の発行

・会員名簿の充実

・地域支部への助成

・地域支部総会への派遣（末森・坂）

・第5, 13, 18期生同窓会開催に助成

・支部会費の徴収（年1000円）等

(4) 倉友会総会の派遣報告（坂）

・前述参照

(5) 平成9年度決算報告（天野）

※同窓会開催助成金が18期生：10000円（64人）、5期

生：10000円（54人）となっているが参加人数×200円で上限は決まっていなかったのではないかと？

・上限はなかったと思う。

・上限を10000円として支給しているので上限があったのでは？

☆参加人数×200円（上限なし）に決定

5期・18期生には10000円で納得してもらった。

以上で承認。

(6) 平成9年度会計監査報告（富田）

・会計ならびに事業計画は妥当適正に行われていることが報告された。

(7) 香川県地域支部（讃岐会）について（末森）

・平成9年度活動報告と10年度の事業計画（岩元）

平成9年度

6/21 高松で讃岐会設立総会と懇親会開催。方針は特になし。理念；「放射線技師とは何か」

H10. 3/31 現在会員数25名

11月に会報の発行

1月に懇親会

平成10年度予定

7/4 総会 会員学術発表と懇親会

「マリンパレスさぬぎ」にて

9月以降 会報の発行予定

※香川県だけですか？

・はい。まず香川だけで、うまくいけば四国支部へと発展させたい。

※他の県の人は知っているのか？

・高知の代表者とは話をしている。

※会費は？納入率は？

・会費は年額1000円徴収、H9年度は25名中24名から徴収。

全員一致で讃岐会地域支部として承認。

今後、地域支部として助成ならびに交通費等支給をする。

(8) 平成10年度事業計画案（末森）

・会報の発行

・放射線技術科支部発足20周年記念事業の準備

・会員名簿の発行

・各期、各地域支部同窓会への助成

・会費の徴収年1000円 等

(9) 平成10年度予算案（天野）

(10) 放射線技術科支部発足20周年記念事業について（荒尾）

※合同同窓会出席人数を150人と見込んでいるが、もっと来るのではないかと？松丘会の時は何人だったのか？

。100人くらい。

※遠方から出席する人に交通費の助成をしてあげたいが？

。難しい。

※会場はグランヴィアがよいかアークホテルがよいか？

。グランヴィアは料理がよくない。

。 " " は駅から近くてよい。

☆ホテルグランヴィア岡山に決定し、計画を進めることにする。事業内容について意見等あれば各担当責任者か荒尾副支部長まで連絡を。

(11) 支部会報について (黒住)

- ・20周年のPRを主に
- ・〒を5ケタ→7ケタに変更した名簿も発行予定
- ・今回は名簿があり、会報の情報量も多いため印刷費、通信費等、予算が心配

(12) 住所不明者リスト (末森)

- ・後述参照
- ※住所等わかったら運営委員長、支部長、副支部長まで。

(13) その他

- ・平成10年7月4日(土)の讃岐会総会に放技科支部から出席してほしい。

- ・5期代表者山本と倉友会塩谷支部長が出席予定

※地域支部からの意見はないですか？会費のことなど。

。○20周年にむけての積立て金が多い。こんなにお金があるのなら助成を増やしてほしいと思うが、倉友会自身会費納入率が悪くまだそこまでは言えない。

※20周年記念事業開催日が日曜の昼からというのは、九州の人は嫌がる。倉友会の総会でも日帰りだと参加人数が半減するので泊まりがよい。放技科支部の約2割が九州なのでもう少し考えてくれてもいいのでは？

。曜日については、日曜日の方が出て来やすい人が多いだろう。前日に各期で同窓会等開けばいいのではないかとということで前回の代表者会で決まっている。あとは代表者のがんばりしだい。

※学会等がある時、一緒に同窓会を開くことが川短(放射線技術科支部)は少ないがどう考えるか？

。学会開催地に幹事がいれば行えるがそういう申し出がないので今の所考えていない。

※地域支部と放技科支部の会費の2重取りは続けるのか？

。本部で会費を集めそれを全て地域支部へ渡すのが一番良いと思う。ただし末端まで行き届くのなら。

↓

今の所地域支部が少なく、もし本部が縮小すると地域支部のない地域の人が困る。

↓

支部により、大きさ、能力が異なるので本部の援助

が必要である。

☆(今)今の所赤字ではないし、今ここでは決められない。

次回倉友会で話をまとめて来る予定。

以上、提案及び報告事項を承認し終了した。

平成9年度決算報告

収入の部			
科 目	決算	備 考	
前年度繰越金	1040665円		
同窓会(松丘会)援助金	170000円		
平成9年度会費	473000円	473口×1000円	
第18期生支部会費	64000円	64人×1000円	
利息	1432円		

合 計 1749097円

支出の部			
科 目	決算	備 考	
会誌印刷費	67830円	会誌Vol.10印刷費	67830円
通信費	90480円	会誌Vol.10発送費	70060円
		代表者会案内状発送費	1170円+1330円
		切手代	800円
		テレホンカード代	2000円
			(1000円×2枚)
		タグシール	15120円
事務費	34905円	封筒代	25440円
			(長3封筒1000枚×2回)
		コピーカード代	4000円
			(1000円×4枚)
		カラーリバーサルフィルム	2499円
		カラーリバーサルフィルム現像代	2966円
会議運営費	3300円	代表者会	2530円(23人×110円)
		運営委員会	770円(7人×110円)
交通費	81320円	中庄一小倉(倉友会支部長)	20220円
		坂出一中庄(監査)	2180円
		代表者会県内交通費	10500円
			(21人×500円)
		放射線技術科香川県地域支部設立総会	
		中庄一高松(3人)	3280円×3人
		児島一高松(1人)	1860円×1人
		中庄一湯田温泉(2人)	35720円
		運営委員会交通費	1000円
			(2人×500円)
地域支部助成金	31620円	倉友会会費納入人数	(105人×300円+120円)
同窓会開催助成金	29000円	第18期生	10000円(64人)
		第13期生	9000円(45人×200円)
		第5期生	10000円(54人)
積立金特別会計繰入金	300000円		

合 計 638455円

残 高 1110642円

積立金特別会計決算

科 目	決算	備 考
前年度繰越金	300130円	
一般会計繰入金	300000円	
利息	367円	

合 計 600497円

(平成10年4月22日現在)

平成10年度予算案

収入の部 科 目	決算	備 考
前年度繰越金	1110642円	
同窓会(松丘会)援助金	170000円	
第19期生支部会費	61000円	61人×1000円
平成10年度支部会費	500000円	500人(見込)×1000円
利息	1762円	
合 計	1843404円	

支出の部 科 目	決算	備 考
総会運営費	200000円	
会議運営費	100000円	
会誌印刷費	300000円	
通信費	300000円	
事務費	100000円	

交通費	200000円	
同窓会開催助成金	190000円	
地域支部助成金	23400円	倉友会会費納入人数 (69口×300円) 香川県地域支部会費納入人数 (9口×300円)
積立金特別会計繰入金	300000円	
予備費	130004円	
合 計	1843404円	

積立金特別会計予算案

科 目	決算	備 考
前年度繰越金	600497円	
一般会計繰入金	300000円	
合 計	900497円	

(平成10年4月22日現在)

放射線技術科第13期生同窓会開催報告

日 時 平成9年10月11日(土)

場 所 福岡 大濠荘

出席者 池谷 陽, 石井孝之, 片山貴美夫, 溝口知美, 木村英司, 砂盛 浩, 富山 隼, 中島克彦, 鍋野剛史, 西尾貴浩,
尾崎(野崎)久美, 橋野松一郎, 藤村高志, 本多武夫, 村上勝哉, 山口(安原)知子, 荒尾信一(川崎医療短大)

幹 事 宮本真路, 溝口義信

コメント 今回は九州南部の同窓生達のためになるべく近い所で同窓会が開催できればと思い計画しました。それ以外の人達にも旅行気分に来ていただけるためにも福岡は良い所だと思います。学生時代のように皆が「バカ」さわぎしなくなったことに淋しさを感じたのは私だけでしょうか…。

放射線技術科第5期生同窓会開催報告

日 時 平成9年10月25日(土) 18:00~

場 所 瀬戸大橋温泉 やま幸

出席者 永海(安保)千恵, 合田(今田)早紀, 遠藤 崇, 大野(大石)敏江, 大前陽子, 加藤友隆, 稲葉(川上)由美子,
工藤芳賢, 安藤(小原)直美, 坂井征一郎, 田村(塩崎)映子, 佐藤(鈴木)千恵美, 石川(鈴木)淑恵,
高原照恵, 滝口裕章, 寺田祐也, 長谷(寺脇)百合子, 畠中(中垣内)千晶, 加藤(永井)春美, 原 宰,
松島(日高)香織, 広瀬達陽, 福田(丸山)文子, 金道(水田)善子, 遠藤(森実)美佳, 山下泰輔,
原田(山本)麻美, 山本浩之, 鳩場祥雅, 板谷道信(川崎医療短大)

放射線技術科第18期生同窓会開催報告

日 時 平成9年11月23日(日)

場 所 一次会 山佐本陣

二次会 サウンドビート(カラオケ)

出席者 安西里奈, 石丸久美子, 伊藤 修, 大岡晃子, 大神拓司, 大高和洋, 大西久美子, 兼重貴子, 佐野由佳, 鈴木真琴,
馬場希世, 平岡 聡, 藤原直人, 前原佳子, 三宅 聡, 本堀淳士, 今村春枝, 大谷綾子, 神崎央貴, 熊谷智恵,
丸山香織, 村上昌隆, 荒尾信一(川崎医療短大)

幹 事 村 正勝

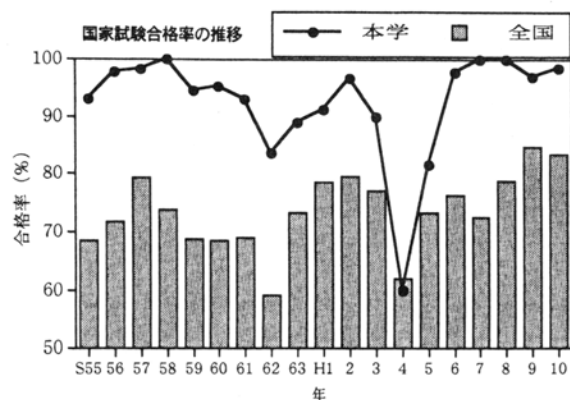
コメント 同窓会の案内状を出した当所は出席者の人数を気にしてばかりいましたが担任の荒尾先生はじめ多数のご出席でありありがとうございました。

女性の方々の化粧のうまさ以外何も変化がなく近況報告や思い出話に異常に盛り上がりました。いきとどかなかった面も多々ありましたでしょうが次回同窓会の宿題とさせていただきます。今後も多数のご出席を願い感想と致します。

トピックス

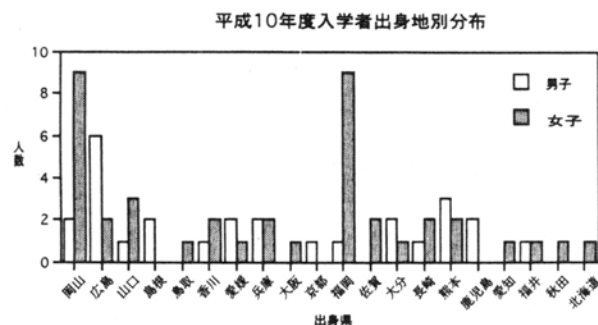
〔国家試験〕

第50回診療放射線技師国家試験合格発表が平成10年4月15日に行われ、合格率98.4%（61名受験，60名合格）であった。全国の合格率は83.6%（2238名受験，1872名合格）で昨年に引き続き全国の合格率が高い国家試験であった。



〔新入生〕

入学者は68名で男子27名，女子41名（第22期生）である。広島に新設された4年生大学の影響も少なく，大人数でのスタートとなった。例年同様，女子学生が多くなっている。



〔教員人事〕

平成10年4月1日付で専任教員の村中明助教授が教授に板谷道信講師，紺野勝信講師が助教授に昇任された。

〔機器購入〕

平成9年度私立大学等経常費補助金特別補助（特色ある教育研究の推進）によって放射線技術科に新しい機器が購入された。購入された機器は線量測定システム（IONEX ドーズマスター線量計，各種チェンバ，ファントム他），X線スペクトル測定システム（RAMTEC 413型X線スペクトルアナライザー：CdZnTe 検出器），X線出力測定システム（KYOKKO MODEL 300X線アナライザー），及びデータ処理システム（Macintosh コンピュータ）である。今後の学生教育，研究に生かしていきたいと考えている。

〔20周年記念事業〕

放射線技術科支部20周年記念事業の講演，式典，記念パーティの日程・会場が決定した。

日程：平成11年7月25日（日）

時間：10：00～15：00（予定）

会場：ホテルグランヴィア岡山

今後，各事業責任者を中心に具体的な内容について準備を進めていく予定である。詳細は後日，各会員に連絡をしたいと考えている。20周年記念事業に関して何かご意見，ご要望があれば積極的に申し出て欲しい。なにぶん初めてのことが多く，戸惑うことも多々あると思うが，会員皆さんの協力が得られないことには成功しないのでよろしくお願いしたい。

訃報

11期生 竹本 淑恵（旧姓 華山）さんは本年2月より入院加療中でしたが，去る5月13日に急逝されました。放射線技術科支部会員一同心よりご冥福をお祈り申し上げます。
11期代表者 草野 武郎

住所不明者リスト

- 第1期生 長島由紀子（粟屋）
- 第2期生 芦原 裕美（難波）
- 第4期生 三原 裕香（大浦） 大迫みち代
梶川 真弓
- 第5期生 藪 高志 中島幸知美（渡邊）
- 第6期生 西山 紀子 日高 徹 平松 理光
村田 佳代 山口 裕之
- 第7期生 西森 幸恵（原）
- 第8期生 内田 健二 月森 千鶴
- 第9期生 中山 明浩
- 第10期生 樫山美和子（佐々木） 清水 孝彦
中津浜由恵 福満 誠一 山本 美砂
- 第11期生 立花 寿子 松浦 史子（中野）
西村 伸二 二宮 博志 藤本 一雄
吉岡 有里
- 第12期生 前田桂一郎
- 第13期生 小川 綱代
- 第14期生 本田 環（川辺） 田熊 晋
渡邊 清仁 竹内 誠
- 第15期生 豊沢 修美 中島 和也
- 第16期生 竹熊 香織
- 第17期生 三浦 孝子
- 第18期生 熊谷 智恵

平成10年4月現在